

〈広報〉
第37号
令和4年
11月10日

青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区
コミュニティ
協議会
新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990

日頃から防災の意識を高めておくことが、災害時の適切な行動へと繋がります。また平時からコロナウイルス感染予防対策を十分に生活の中に取り入れ、いつ襲ってくるかわからない災害に備えましょう。



田村防災実行委員長の話しを聞く児童たち

令和四年度の防災訓練は、七月二十四日の合同打合せ会議で決定された方針「コロナ感染予防から、接触機会を避け、防災意識の啓発に徹する」とし、昨年同様「地区合同の防災訓練は行わず、学校を中心とし、地域に全戸訓練チェックシート配布と実施」を基本として取り組みました。

暑い夏とオミクロン

株B A5の第7波拡大の中で、計画、準備を進めました。学校関係行事外でも自治会単位の自主計画に基づき、浦山4区と西有明町第1の二自治会で避難訓練を実施、地区参加者総数は全体で七百二十一名（児童引き渡し訓練含む）の実績でした。

防災訓練

令和4年度

青山小学校地区 自主防災会

防災意識を高め、災害に備えよう

青山小学校での防災活動について 在庫品の有効活用を

本年度青山小学校にて八月二十五日小学校体育館で「災害時の非常食について」の出前講座を六年生約六十名対象に実施しました。

講座のきっかけは、自主防災会管理の防災在庫品の非常食の賞味期限チェックと、学校側の非常食実習を兼ね、防災の意義を考える狙いで実現しました。六年生がそれぞれ役割分担し、順調に実習を終える事ができました。非常食は水だけを入れる五日御飯で、全員協力して作ったものが、その日の全校の昼食メニューに代わって出されました。いつも食べている食事がいかに美味しいかがわかったことでしょう。

この出前講座は、「ローリングストック」と言って普段の食品在庫を多少多めに備蓄し賞味期限が切れそうなものを食べ、消費した分について在庫する繰り返しを、学習で取り入れたものです。

八月三十一日のふれあいスクールは、体育館にワンタッチパーティーションが九張立ち並び、今年の新一年生でも広げることができると確認しました。

九月三日は小学校で保護者との「引渡し訓練」を実施しました。地域別の子ども会では自治会の方と顔合わせ交流会も開きました。子供たちはいつも見守りをしてもらっている方や、地域の防災を担っている方と「災害の話」や「子供たちからの災害のクイズ」などで楽しい時間を過ごしました。

平時から近隣住民とのコミュニケーションを大切にして、有事の際に協力しあえる様にしていきましょう。（田村政敏・防災士・浦山1区自治会長・自主防災会実行委員長）

青山コミ協防災講座 災害を知ろうよ!

講師：新潟大学 卜部 厚志 教授 (災害・復興科学研究所)

有明・浦山地域の自然災害について「災害を知ろうよ」のテーマで師走、地域住民に災害を知ってもらうための防災講座を開きます。（コロナ禍から役員対象とし、一般公募ではありません。）

災害には地震・津波・土砂・浸水など多々ありますが、この地域はどの災害が一番のリスクがあるのか、どう対処したら良いかを考えるきっかけになれば幸いです。この講演を聞いて青山小学校区防災会はリスクの大きい災害への対策を講じ、避難のあり方、開設する避難所をどう有効活用するかなど地域の皆さんと一緒に考え、この講演の学びを地域にどう広げ、どう災害と対峙していったらいいか考えていきましょう。

巨大バルーン潜水艦

青山小学校体育館に あらかる!!



新潟大学学生団体CANs主催の「巨大バルーン潜水艦を作る」が九月二十四日青山小学校体育館で開催されました。

昨年はコロナ禍で中止、この日は早朝からの雨の中、参加予約した児童五十一名と保護者が次々に体育館に集合。事前準備のCANsのスタッフと学生ボランティアとふれあい教室のスタッフ約

四十名が、コロナ感染対策を万全にした会場の

休日体育館で、お出迎えしました。

開会式のあと、ゲームで仲良くなり、児童が自分で選んだ色のビニールに海を連想できるものを絵に、それがバルーン潜水艦の天井になるとはびっくり仰天。一連の作業後、送風機で膨らんだ高さ3m、幅は17mのバルーンの中に入った児童は、素敵な光景と風船遊びに大はしゃぎ、幻想的な世界に感動と歓声が土曜の体育館に響き渡っていました。お昼近くまでのイベントは、アンケートには、次回もあったらまた参加の声があり、子どもたちに達成感を味わってもらったイベントでした。

(ふれあい教室運営主任・熊谷 豊子)



うちの自治会 シリーズ 9

浦山五区

多彩、活発な町内活動

会長 長澤 一明



浦山五区自治会は青山小学校校区コミ協の東寄り、産業道路の北側に位置し、百四十世帯の自治会です。

浦山やすらぎ公園を有し、この公園を活用して色々な行事や活動を行って来ました。春はお花見・一斉清掃・花壇作り、夏はラジ

才体操・子供会清掃・子供会お楽しみ会、秋は避難訓練・豚汁大会・一斉清掃・チューリップ植え・日帰り温泉めぐりとみんなで楽しんでいたので、清掃活動と花壇作り以外は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどが休止せざるを得ない状況です。少しでも早く新型コロナウイルス感染症が落ち着くことを願っています。

サンシャイン青山の自治会長が交代し、

新しい会長に **西迫幸美** にしざき さんが就任しました。

地域包括支援センター 小新・小針 共催事業

コロナ禍の中、スマホ教室と認知症講演会



スマホ教室は六月二回、ドコモショップ・アピタ新潟西店の出張で、青山コミハウスで開きました。入門・基礎編に合わせて二十人が参加しました。講演会は認知症をテーマにオンラインで開催しました。八月三十一日「認知症の患者さんとご家族を支えるために」の演題で、講師は新潟医療福祉大学の今村徹教授。大学と福祉会館、青山コミハウスを繋いで開催、二会場三十七人が聴講しました。



三年連続 浦山地区「ふれあいの集」中止

二年連続でコロナ禍から中止となっていた浦山地区のふれあいの集は、三年ぶりの開催を目指し計画を着々と進めていきましたが、八月の県の「B.A.5 対策強化宣言」によりリスクの高い高齢者の命と健康を守るため、やむなく中止に至りました。楽しみにされていた参加予定者やとりまとめ関係者に対し、心よりお詫びとご協力にお礼申し上げます。

恒例の「赤飯」希望者配布は、参加予定者分を加え五百食に近い配布実績でした。

浦山自治協 ふれあいの集担当 五十嵐 修・佐藤 昇誠

新潟シティマラソン
コロナ吹き飛ばし柳都疾走

4年ぶりの開催となった新潟シティマラソンが10月9日、秋空の下、6,400人余りが参加して市内周遊コースを力走、競いました。

デンカビッグスワンスタジアムをスタート、30キロ地点、午前10時過ぎ関屋分水遊歩道を通り、コース各所には走路員が立ってランナーの安全走行を見守りました。舗装路面の継ぎ目につまずいて転倒、ボランティアの手を借りて走り出すランナーも目立ちました。地元では浦山、有明自治協、民生委員、青山小スポ振などのボランティアスタッフが協力してサポートしました。

コロナ感染防止対策で中止になる前に比べ約半数の参加者でしたが、県外からの顔ぶれも目立ち、出身地や職場名をアピールしたり、多彩なファッションでコロナを吹き飛ばすスポーツの秋満開の日でした。



ランナーの見守りと給水に大忙しのボランティア

ジャズの夕べ

コロナ禍の中、一服の爽快感に浸って…

秋の暖かな陽射しのもと、十月二日「有明福祉タウンと地域の茶の間…拡大交流会」『ジャズの夕べ』が有明診療所の駐車場広場で開かれました。

この野外コンサートは昨年に続き二回目で、出演バンドは新潟ジャズストリート所属のニグループでした。演奏曲目は「ブルー・マイナー」「マイ・ワン・オンリー・ラブ」などジャズのスタンダード・ナンバー、映画音楽の「ムーン・リバー」「酒とバラの日々」、昭和歌謡では「黄昏のピギン」「終着駅」など多彩な選曲でした。二つのバンドが前半と後半に分かれ、十八曲を熱演、楽しい二時間でした。

スローからアップテンポの曲まで、熱く繰り広げられた野外でのジャズ演奏、コロナ禍にあって一服の爽快感に浸った秋のひとつときでした。



編集後記

深まる秋、思いもしなかった悲しい出来事に茫然自失、過ぎし日のひとコマ、ひとコマが思い出されてきてどうにもならず、しばらく虚脱状態でした。自治会長仲間だった青山在住の石附七司さんの突然の死、行年八十八歳。数日前の昼過ぎ、宝塚歌劇団ゆかりの店へ行く飲み会の段取りを話し合ったばかり、郷土史研究仲間との前からの約束だったそう、私にも声をかけてくれた。飲み会、決行の意欲満々だった。それだ

けに、まさか信じられなかった。石附さんは歴史に詳しく、数字にも強く、教えられることばかりだった。テーマごとに整理した大量の新聞切り抜きを見せてもらってびっくりした。

当コミ協だよりも何度か原稿を寄せてもらった。ごく最近では関屋分水通水五十周年について分水路建設にかけた先駆者に焦点をあてた論考、さらに青山、浦山地区の買い物難民化・浦山商店街の振興について行政当局に対してご意見番的な提言をした内容だった。

(平賀巳代治 記)

※この広報誌は新潟市の助成金を受けて発行しています。

地域の美活動

皆さんご協力ありがとうございました



【信濃川クリーン作戦】7月17日 46名参加
浦山自治協を中心に関屋分水路左岸の清掃



【西区一斉清掃】8月28日 75名参加
青山小学校児童通学路の危険箇所の確認と清掃